



< 苦悩する中間層 Y点 1,000点以上の会社 >

自己資本の少ない会社が多い中で中間層と言っているかどうかは分かりませんが、自己資本額が1億円から10億円未満の会社でY点が1,000点を超えることが難しくなっています。(表1参照)

【表1】Y点が1,000点を超える業者の平均
調査業者数 111,463業者(調査日2008年12月16日)

自己資本額	調査業者数		Y点が1,000点を超える業者数	
	数	率	数	率
全体	111,463	100.0%	5,319	4.8%
100億円以上	524	0.5%	400	76.3%
50億円以上 100億円未満	384	0.3%	197	51.3%
20億円以上 50億円未満	985	0.9%	125	12.7%
10億円以上 20億円未満	1,558	1.4%	64	4.1%
5億円以上 10億円未満	2,882	2.6%	71	2.5%
1億円以上 5億円未満	17,330	15.5%	526	3.0%
5千万円以上 1億円未満	14,401	12.9%	842	5.8%
0円以上 5千万円未満	57,390	51.5%	3,093	5.4%
0円未満	16,009	14.4%	1	0.0%

自己資本額がマイナスの会社は、さすがに1,000点を超える会社は1社のみですが、その他の層で一番割合が低いのは自己資本額が5億円以上10億円未満の層で割合は2.5%です。その次に低い層は自己資本額1億円以上5億円未満の層で割合は3.0%です。その上の層やその下の層よりも割合が低くなっています。

このことについては、WiseFAXNET2008.10月号でも取り上げましたが、自己資本額だけの区分で集計できましたのでもう少し詳しく検討してみました。

1,000点を超える会社の割合が一番低いのは、自己資本額が5億円以上10億円未満の層ですので、自己資本額が10分の1の5千万円以上1億円未満の層と自己資本額が10倍の50億円以上100億円未満の層との比較を通して、この層がどの指標で苦悩しているかを考えてみましょう。

まず、平均点の指標をもとに算出したY点(実際の平均点ではありません。)は、自己資本額50億円以上100億円未満の層が969点、自己資本額5億円以上10億円未満の層が774点、自己資本額5千万円以上1億円未満の層が754点で、規模の順となっています。Y点1,000点超では、それぞれY点は1,108点、1,038点、1,036点です。

次に、平均点と1,000点超の会社の差を示したのが表2の差額の欄です。Y点換算値でこの差額が大きい評点が1,000点越えの条件であり、苦悩する部分であると考えられます。自己資本額50億円以上100億円未満の層では、平均点が969点ですからもう少し努力すれば1,000点となります。そして、差が大きな指標は営業キャッシュ・フロー(X7)と利益剰余金(X8)です。自己資本額5千万円以上1億円未満の層では、純支払利息比率(X1)、負債回転期

間(X2)、売上高経常利益率(X4)、自己資本対固定資産比率(X5)、自己資本比率(X6)です。そして、自己資本額5億円以上10億円未満の層は、総資本売上総利益率(X3)です。指標の数の上では自己資本額5千万円以上1億円未満の層が多くなっていますが、Y点が1,000点を超える比率は、自己資本額5千万円以上1億円未満の層が5.8%、自己資本額5億円以上10億円未満の層が2.5%である点を考えるといかに総資本売上総利益率(X3)の差157.867点(Y点換算値 表2のX3の差額欄の数値)がいかに難しいかということです。

【表2】Y点1,000点超の会社及び平均点の各指標とその差額
自己資本額で区分

	X3		X7		X8	
	点数	Y点換算値	点数	Y点換算値	点数	Y点換算値
1,000点超						
50億円以上 100億円未満	22.502	99.385	8.646	118.322	63.994	184.147
5億円以上 10億円未満	54.942	242.663	1.225	16.764	6.657	19.156
5千万円以上 1億円未満	59.875	264.451	0.076	1.040	0.505	1.453
平均点	点数	Y点換算値	点数	Y点換算値	点数	Y点換算値
50億円以上 100億円未満	18.097	79.929	5.511	75.419	53.914	155.141
5億円以上 10億円未満	19.199	84.797	0.533	7.294	6.316	18.175
5千万円以上 1億円未満	27.796	122.767	0.047	0.643	0.480	1.381
差額		Y点換算値		Y点換算値		Y点換算値
50億円以上 100億円未満		19.456		42.903		29.006
5億円以上 10億円未満		157.867		9.470		0.981
5千万円以上 1億円未満		141.684		0.397		0.072

また、平均点も総資本売上総利益率(X3)では19.199で、自己資本額50億円以上100億円未満の層の18.097に近く、営業キャッシュ・フロー(X7)、利益剰余金(X8)では、それぞれ0.533、6.316と自己資本額5千万円以上1億円未満の層との差が少なく、どちらでも得点できない中途半端な状況に置かれています。

以上から分かるように、新しい「経審」では、安泰の大企業、苦悩する中間層、勢いづく小企業という構図が形成されつつあります。さらに、自己資本額・平均利益額評点(X2)でも、「中小業者の層で極端な差がつかないよう評点テーブルを設定」(中央建設業審議会ワーキンググループ第4回経営事項審査改正専門部会 評価項目及び基準の改正案)していますので、苦悩は深まるばかりです。

WISENET編集部 松村 清(税理士)

今年1年のご愛読、誠にありがとうございました

今後メールでの送信をご希望される場合は下記にアドレスをご記入下さい。

貴社名	
ご担当者様	FAX
e-mail	

今後「Wise FAXNET」送信不要 今後「Wise FAXNET」はメールで希望
FAX送信はこちらまで 0269-65-4745